「都市づくりのグランドデザイン」改定のポイント

改定の背景・必要性

○「都市づくりのグランドデザイン」を平成29年度に策定以降、**東京を取り巻く社会経済情勢はこれまでになく急激に変化**

【策定以降の主な変化】

- ✓ 生成AIを始めとした**技術革新**の急速な進展に伴う人々の**暮らし方**や**働き方**
- ✓ 新型コロナウイルスを契機とした**都市のゆとり**や**空間**に対する考え方
- ✓ 切迫する**首都直下地震**や**気候変動**に起因した水害の頻発化・深刻化　　等

時代の変化にしなやかに対応しながら、**新たな都市づくりの方向性**を示す必要

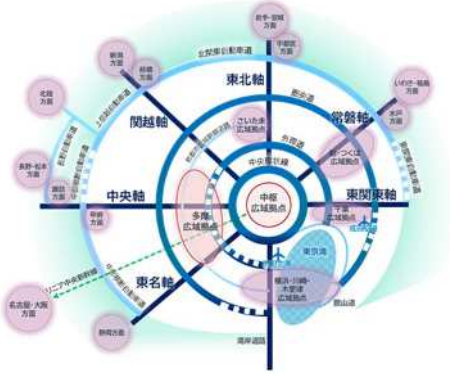




改定のポイント

① 首都圏を越えた広域的な連携を促進する「グレーター東京圏」

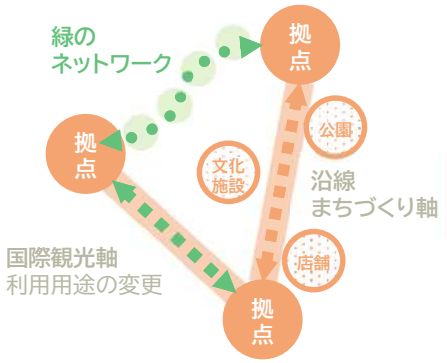
- 広域インフラを活用し、**東京の活力**と**各地域が持つ強み**を結び付けることで、**相乗効果を発揮**
- 農業、産業、エネルギー、観光、防災など**多様な分野で連携**し、**新たな価値を創出**



概念図

② 東京ならではの個性ある拠点と地域の軸を形成

- 自然や文化、産業や商業の集積、下町の風情や歴史的な街並みなど、**地域が持つ多様な特性を最大限に活用**し、魅力を向上
- 複数の拠点等を緑と水のネットワークや公共交通で結び、相互に刺激し合うことで、**連続的なにぎわいの創出**や**交流を促進**



軸のイメージ

2050年代に向けた都市づくりの方向性

①都市づくりの３つの視点

- **個性の磨き上げ**
  既存ストックも活用しながら、地域の個性を磨き上げ、魅力を向上
- **人中心のまちづくり**
  価値観等の多様化を踏まえ、人中心の視点でまちづくりを推進
- **交流・連携の強化**
  多様な地域との結びつきを深め、日本の持続的な成長を牽引

② 主な政策方針

（戦略１・政策方針４）
- **臨海部が区部中心部と一体的に発展し新たな価値を創造する**

（戦略２・政策方針８）
- **道路や駅を人中心の空間に再編し交流とにぎわいを広げる**

（戦略３・政策方針13）
- **激甚化する水害に負けない都市を実現する**

（戦略４・政策方針19）
- **酷暑に強い都市環境を実現する**

（戦略５・政策方針24）
- **東京の魅力を生かした多様な住まいを実現する**

（戦略６・政策方針27）
- **あらゆる場所で緑を感じられる都市をつくる**

（戦略７・政策方針33）
- **東京ならではの景観を活かし観光都市としての魅力を高める**